大人
ほきめたるえ

「校訓とともに」

じぶんから　みんなと　いっしょうけんめい

子ども
のやびれるば

長崎市立外海黒崎小学校
令和４年度学校だより
令和４年 12 月 22 日(木)
校長　溝　川　　浩

～少し早いですが・・今年はお世話になりました～

いよいよ年末。思い返せば、新型コロナウイルスの感染が中国で確認されたのが３年前でした。まさか世界的な感染拡大になるとは思っていなかったあの頃、マスク姿は一人もいないいつもの光景を、学校や地域のいたる所で目にしたものです。当たり前のことが当たり前にできるありがたさを学び続け、いつしかウィズコロナの生活様式が定着し、今年は小体会、小音会、交歓会が再び開催されました。12 月授業参観では、児童や学級に温かいまなざしを送っていただき、心よりお礼申し上げます。冬休みまであとわずか。ご家庭でも年末年始の計画を立てていることと思います、感染状況を捉え、賢く有意義にお過ごしいただけたら幸いです。

今年もたいへんお世話になりました。少し早いですが、来年もよろしくお願いいたします。

積み重ねが子供を成長させます

大人の関わり方が、子供の自立の力を確実に育てていくことはご承知のとおりです。今回は、本校の校訓の意義や取組について紹介します。校訓には代々「自立と共生」の意義が込められています。

「自他を思いやる力」

ご家庭で最も実践できる取組みとしては、『〇〇の手伝い』『スリッパ並べ』『掃除』『妹弟の世話』など数多くあります。子供の年齢や興味に応じて徐々に取組の幅を広げていくことが大切です。子供が本来持つ世話好き心を大切に育てましょう。

「問題を解決する力」

勉強することだけではありません。物を自分で何とかして修理しようとしたり、分からないことを調べて分かろうとしたりする姿は、子供の行動を観察すれば必ず見つけることができます。そんな行為が見られた時、さりげなく言葉をかけるのです。「がんばってるね」「自分の力でできたね」そのさりげない褒め言葉の積み重ねが、お子さんの問題を解決する力＝探究心を確実に育てます。子供は褒められたことを忘れません。

「やりぬく力」

子供が幼い頃、一緒に風呂で「1、2、3・・１００！」と数を数えたものです。ほか、家族の目標、ルール、約束事を親がしっかり管理し、果たせたときには親子で一緒に喜ぶ。そんな成功体験の積み重ねがお子さんのやりぬく力＝我慢強さを確実に育てます。

学校は、子供たちを誕生年度で編制し、授業ほか集団活動を通じて学力と社会性を文科省が示した内容で育てる場所です。一方で、家庭は親という絶対的指導者のもと、子供たちが将来自立するために必要な生きる力を、『愛情』『躾』を基本に自立するまで育て続ける居場所です。子供の成長に学校も家庭も不可欠な環境ですが、家庭教育での積み重ねが子供の個性を伸ばすうえで圧倒的に重要であることは、言うまでもありません。

家庭は子育てばかりの営みの場ではありませんが、子育て時代が最も長く充実しています。できることから鍛え褒める家庭教育をお願いします。

どんなときも、自分の足で通学させてくださいました保護者の皆様にお礼申し上げます。外海黒崎小職員一同

コロナを言い訳にしない学校づくりの令和４年

二年前の流行語大賞で「３密」が受賞したように、コロナを真ん中に置いた生活や仕事などの見直しがめまぐるしい令和四年でした。

これまで、職員の子供・教育への思いや知恵、加えて保護者、住民の皆様の温かな見守りや協力に支えられ、児童の命を預かり育てる教育機関として、これまで校内感染０であり続けていることに感謝と安堵をしているところです。

二学期は「つづけてやれば　もっとのびる」を合い言葉に、全校児童に毎日少しずつの努力について声をかけてきました。「コロナ禍だから学力不振は仕方がない」という考えは決してあってはならないことであり、逆にこのような状況だからこそ、地道な教育活動をひたすら続け、学力向上を目指して参りました。

終業式というゴールが見えてきた今、静けさと活気さが各教室で見て取れる現在の外海黒崎小です。

今年から、全児童にタブレットPCを利用させ始め、使用ルールを理解させたうえで自宅持ち帰りも実施しました。学ぶ環境の充実となれば幸いです。

新しい学習様式をとり入れるほど、本来の「話す」「聞く」「書く」「読む」の基本が重要と分かります。とりわけ小学生には書き取る習慣は不可欠です。冬休みに「鍛え褒める」家庭教育をぜひ続けて実践ください。

［今後の予定］

〇二学期終業式　十二月二十三日
〇三学期始業式　一月十日
〇令和四年度卒業証書授与式　三月十六日
・流れ、参加対象、人数等協議中
〇令和四年度修了式・離任式　三月二十四日
〇令和五年度一学期始業式・着任式　四月七日
〇令和五年度入学式　四月十一日

ウイルス感染の状況によっては、各種行事の形式を工夫していく予定です。児童や保護者の思いを汲みながらも、関係のご家族にご迷惑をおかけしない判断に努めます。

ワクチン接種により状況が改善できることを祈るばかりです。